



広報

まつだい

2004
4

No. 533
平成16年4月15日

新市名「十日町市」



3月21日 松代町総合センターでの第15回十日町広域圏合併任意協議会。約150名の傍聴者が見守るなか、委員26名による投票の結果、新市の名称は「十日町市」に選定された。

また、十日町広域圏五市町村（松代町、十日町市、川西町、中里村、松之山町）は、3月30日に開催された各市町村議会で、法定協議会設置の議案が提出され、五市町村とも可決した。



主な内容

- 合併任意協議会／町民懇談会……②～③
- 平成16年度 町の予算は……④～⑦
- 千年分譲地／芝峠体験交流館……⑧～⑨
- 東京発／松代の自然ほか……⑩～⑪
- 冬の陣／十日町地域メディカルコントロール協議会……⑫～⑬
- 文芸／お知らせ／町の行事予定ほか……⑭～⑮

■松代町役場

〒942 1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代3252番地 1
 TEL 025-597-2220
 FAX 025-597-2526・597-2300
 URL 松代町 <http://www.town.matsudai.niigata.jp/>
 松代町観光協会 <http://www.echigo-matsudai.com/>

第15回十日町広域圏 合併任意協議会

開催日 3月21日(日)
会場 松代町総合センター

新市名称選定投票の結果

十日町	14票
美雪	12票
投票総数	26票
有効投票数	26票
無効投票数	0票

一次選定では三案が選定されていたが、「奥越後」は推す声が少ないことからはずして、「十日町」と「美雪」の二案でしぼりこむこととした。

この日議長を務めた関谷町長から選定の仕方

松代町議会 法定協議会設立を可決



なお、2月20日の松代町合併審議会でも、この十日町広域圏五市町村での法定協議会の設置は了承を得ている。

市町村合併懇談会に町民300人が集う

3月22日から四回の日程で、町内四会場において第3回市町村合併町民懇談会が開催され、町の財政状況や任意協議会での協議事項について説明があった。

懇談会で関谷町長は「合併は手段であり、目的ではありません。国も財政事情が厳しい中で、交付税も年々減額されています。今後の町民の幸せや福祉向上を考えると合併以外に道はないと考えています」と町民の合併への理解を促した。また、小堺議長は「議会としても合併は必要だとの見解です。新市の名称は十日町市に選定されましたが、今後も周辺町村とスクラムを組みながら、十日町の一人歩きにならないように協議を重ねていきたいと思っています」と話した。

この町民懇談会で、町民のみなさんから出された「質問・要望」は次のとおり。

第3回市町村合併町民懇談会 皆さんからの 質問・要望

(要望についてはそのまま記載し、質問については町からの回答を付しています)

①農事連絡員の設置について

七年前の農協合併の際、十日町市では、農業行政にかかるものは農事連絡員が担当するということが、山しづみ地区の農家組合長手当てがこれまでの三分の一に減ったという経緯があったので、参考までに中し上げる。

②嘱託員手当てについて

現在は委託料として、支払われているものが報酬に変わるということは源泉徴収されるということか。

(回答)源泉徴収されます。

③嘱託員報酬について

嘱託員報酬を減額することで地域コミュニケーションが衰退することはないか。

(回答)嘱託員は、行政嘱託員と区長さんの立場を兼ね備えていると思います。報酬は行政嘱託員にたいするもので、区長さんの業務は区で考えていただくべきものと思っています。

委員意見メモ

「投票によらず、委員の話合いで決めることが望ましい」。山本会長は、新市名称をめぐり、先に行われた首長・議長会議で意見がまとまらなかった報告をした。

市町村合併の協議を進めるうえで最大の難局である新市の名称については、やはり投票に頼らざるを得なかった。この名称は、4月以降に設置される法定協議会で決定する。

関谷町長は、3月30日に行われた松代町臨時議会において、十日町広域圏五市町村(松代町、十日町市、川西町、中里村、松之山町)の合併による新市の建設にむけた基本的な計画の作成などを協議するため法定協議会(十日町広域圏合併協議会)を設置する提案をし、松代町議会(小堺清司議長)は、これを可決した。

協議会の終わりに山本会長は「選定されたこの新市名を尊重し、愛し、愛されながら市名(使命)を持って地域の発展のためにお互いにかんばっていかねばならない」とあいさつした。続けて「新設合併であり、新たな名称を望む声がある中で、旧市町村名の一つである「十日町」が選定された。これを、新市名なんだという認識のもとで歩んでいただきたい」と今後の新市誕生に期待を膨らませた。

最後に山本会長は「特に申し上げておきたいことは、十日町市の皆様には願ってもないことではなかったかと思う。名は取っても実は捨てるという気持ちをもって今後進んでもらいたい。いうなれば、言動、行動それぞれ周辺の皆さんの気持ちに配慮して、謙虚な気持ちを持って今後進んでもらいたいと強く思っている」と、今後の円満な協議の進行を切望して、任意協議会を締めくくった。

④電話番号の市内局番の変更について

先日、(東頸城管内の)市内局番が変わったが、合併後に市内局番は十日町市と同じにならないのか。

(回答)電話番号はN.T.Tが番号管理をしていて、合併後も、市内局番は現在と変わりません。

⑤携帯電話非通話地区の解消について

建設計画に、携帯電話の非通話地区解消事業があげられているので、ぜひ実行してほしい。

⑥光ファイバーの敷設について

高速通信体系の一環で、光ファイバー敷設の事業計画があるようだが、ぜひ実行してほしい。

⑦郵便事情について

現在、松之山町の浦田地区は室野局経由で翌々日配達される。合併後はどのような経路になるか分からないが、効率のよい配達経路にしてほしい。

(回答)現在の運営形態とすぐには変更できないようです。今後関係局や郵政まちづくり協議会の場でも話をしていきます。

⑧合併特例債について

この特例債は、新庁舎建設やその周辺の整備にも充てられるようだが、周辺地域ではどのように使われるのか。

(回答)公共施設の改装や地方道

路の改良などさまざまです。今後の協議会で協議し、県とも相談しながら調整していきます。

⑨合併特例債について

合併特例債の246億円の使い道は、新市の新しい議員が決めるのか。使用期限はあるのか。

(回答)246億円は特例債の上限額であり、法定協議会において合併後十年間の新市建設計画の中で決められます。よって、特例債の使用も十年間ということになります。特例債も借金であり、その七割は国が補てんしてくれ

ますが三割は自己負担なので、返済も考えて計画を組みます。

⑩合併後の普通交付税について

合併特例法の期限内に合併すると、合併前の市町村の普通交付税が保障されることだが、段階補正も現状のままなのか。

(回答)合併後十年間は、段階補正についても合併前の旧市町村ごとに算定され、その後五年間かけて新たな市の規模に一本化し、算定されます。

⑪市町村合併について

松代町は積極的に合併に取組んでいるが、その考え方には反対だ。黙っていたほうが交付税は減らないんだとの見方もあり、合併を急ぐ必要はないように思う。

(回答)説明のように、松代町は合併しないと財政的に自立できないので合併より方法がないと考えています。町民の福祉向上は、合併以外にないと考えています。

⑫市町村合併について

十日町広域圏内の幾つかの町村が、今頃になって住民投票の実施や他町村との合併を考えるなどの動きがあるが、松代町はこのようなことがないように、予定どおり合併が進められるよう、町長などはリーダーシップを発揮してほしい。

⑬周辺町村の状況について

合併する五市町村の中には、住民投票などの動きのある町村もあるようだが、そのような町村は議会会で法定協議会設置の議案が否決されることはないのか。

(回答)合併までの限られた時間の中で、そのような町村は、法定協議会の協議と住民投票実施の協議を並行して議会にかけられると思います。

⑭新市の名称について

新市の名称は十日町市に選定され、残念に思っているが、投票は記名投票だったのか。また、松代町の委員はどちらにしたのか。

(回答)無記名投票でした。松代・松之山の委員さんは十日町に入

れたほうが多いと思います。

⑮住民意向調査について

住民意向調査は行わないのか。(回答)過去二回の調査で住民の意思をうかがっているので行いません。

⑯除雪について

十日町では道路除雪に個人負担を求めていることだが、五年後の見直しで十日町のようにならないようにしてもらいたい。

(回答)十日町市では、公道に屋根雪が落ちるところでのみ個人負担を実施しています。地域の連携を図るうえでよい慣例として行っているので、今回の協議で減額したうえで継続することにしました。

⑰国道253の改良について

千年一池尻間の国道改良工事の所管が、上越振興局から十日町振興局に移管することで、工事が遅れることはないのか。

(回答)平成16年度については、安塚振興事務所が引き続き所管し、平成17年度から十日町地域振興局が担当します。今後も早期整備を県に強く要望していきます。

⑱広域行政の所管について

現在、松代町を所管する国・県行政官庁は上越と十日町で入り組んでいるが、新市の名称なども

併せて、決定したい住民に周知願いたい。(回答)法定協で決定しますので、決まりしだいお知らせします。それまでは暦などの印刷物はご注意ください。

⑲地域起について

大きな市では民間主体の地域起しが行われているが小さな町村では、これまで行政頼りだった。主体性の均衡を欠くことなく、合併によって今までのイベントなどがなくならないようにしてほしい。

⑳公民館問題について

合併により公民館活動も整合性がとられることと思うが、現在の活動団体へのサービスが低下しないようにしてほしい。

㉑総合健康診断について

総合健康診断は、合併後も継続できるのか。(回答)総合健康診断は、五市町村すべてで実施しているが、細部については若干異なります。今後、法定協議会の中で話し合われます。



平成16年度 町の予算は



町の予算は、町民の皆さんの生活や福祉など、公共事業の大部分を占める「一般会計」と、水道や国民健康保険など利用する人のみの収入を主な財源に、独立して事業を行う「特別会計」に分かれています。この予算がわたしたちの生活のどのようなことに使われているのか、その概要をお知らせします。

歳入では、三位一体改革の影響で地方交付税が2億5百万円の大幅な減収となったため、基金の取り崩しや優良債の活用などにより財源を確保しています。

歳入では、三位一体改革の影響で地方交付税が2億5百万円の大幅な減収となったため、基金の取り崩しや優良債の活用などにより財源を確保しています。

平成16年度の予算は、松代町最後の予算となるため、町民皆さんの要望を多く取り入れた予算となりました。

また、昨年掘削した温泉が湧出したことにより、芝峠温泉に露天風呂を新設するほか、高齢者が安心して生活できる高齢者専用の住宅を建設します。

一般会計予算の総額は、昨年度に比較して5億3千7百万円（14.9%）増の41億5千万円となっています。

16年度
予算総額

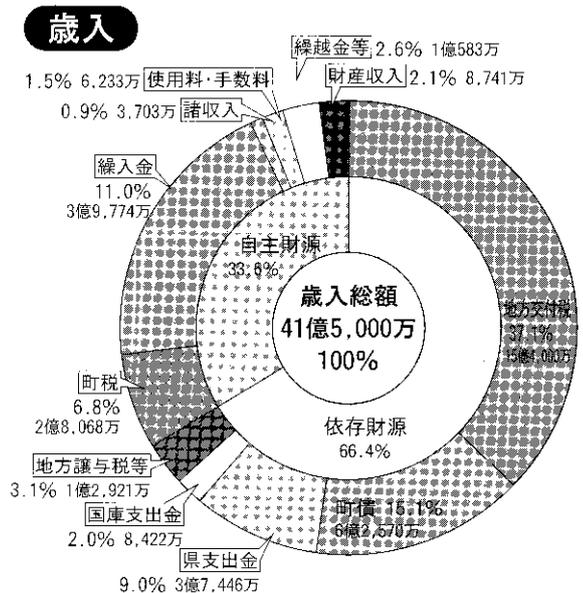
一般会計 41億5,000万円
特別会計 20億5,313万円
(6会計)

計 62億 313万円

- ・芝峠温泉露天風呂新設とホテルのバリアフリー化に 3億7,559万円
- ・高齢者生活支援ハウス建設に 2億 559万円

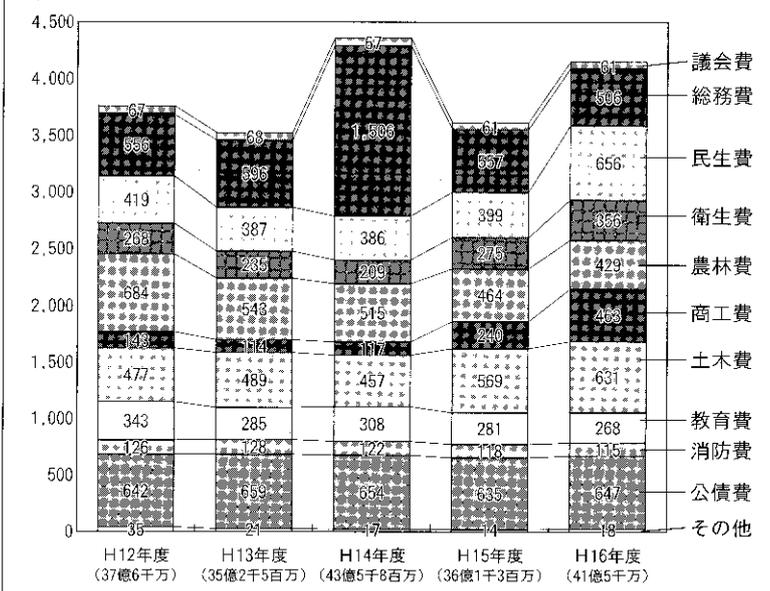
平成16年度一般会計の構成比

(単位:円)

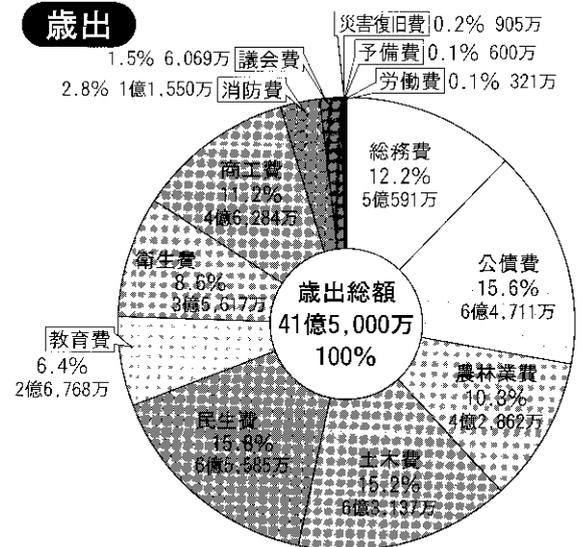


一般会計の目的別歳出予算の推移

(単位:百万円)



歳出



三位一体の改革が町の財政を直撃



保育所運営費などの国庫補助金も削減対象に

小泉首相が進めている三位一体改革の内容が、昨年末に決定しました。それによると、国庫補助金は三年間で4兆円を削減。それに替わる財源として、所得譲与税などで8割を地方に税源移譲するというものです。また、市町村の歳入の柱となっている地方交付税については、国の予算と一緒に作成する地方財政計画のなかで、地方公務員の一人削減や地方単独事業費を9・5%削減することなどにより、16年度の交付税を1兆1千8百億円削減することとしました。

これら三位一体の改革で、当町のように歳入の大部分が地方交付税や国・県の補助金でまかなう町村の予算編成に与えた影響は、たいへん厳しいものとなりました。そこで、この改革により受けた影響額をお知らせします。

所得譲与税…本格的な税源移譲までの暫定的な税で、各自治体の人口に応じて交付されます。

1. 地方交付税等の削減による影響額

区分	平成16年度	平成15年度	増減額	増減率
普通交付税	13億4,000万円	15億5,000万円	△2億1,000万円	△13.5%
特別交付税	2億円	1億9,500万円	500万円	2.6%
小計	15億4,000万円	17億4,500万円	△2億500万円	△11.7%
※臨時財政対策債	1億7,000万円	2億2,000万円	△5,000万円	△22.7%
合計	17億1,000万円	19億6,500万円	△2億5,500万円	△13.0%

地方交付税等の削減額
2億5,500万円

歳入全体の約6%の削減にあたります。

※臨時財政対策債は、国に代わって市町村が借り入れる借金のことをいいます。本来国が交付税として交付すべき額であるので影響額に加えています。また、償還金全額を国がすべて補てんすることになっています。

2. 国庫補助金の削減額

所轄官庁	補助金名称	削減額	税源移譲の内容
厚生労働省	保育所運営費国庫負担金	846万円	所得譲与税
同上	介護保険事務費交付金	240万円	同上
同上	国保事務費交付金	7万円	同上
同上	児童手当等事務費交付金	11万円	配偶者特別控除の廃止に伴う増収(H17~)
農林水産省	農業委員会交付金	24万円	所得譲与税
影響額合計		1,128万円	

3. 国からの税源移譲及び税制改革の内容

項目	税源移譲の名称	予算計上額	税源移譲の内容
町税	町民税均等割	109万円	2千円から3千円に千円増加
地方譲与税	所得譲与税	695万円	国勢調査人口の割合に応じて譲与
税源移譲額合計		804万円	

4. 国庫補助金への影響額

国庫補助金の削減額	—	税源移譲額	=	影響額
1,128万円		804万円		324万円



一般会計の主要事業

★は今年度新規事業

衛生費は、3億5,617万円(前年度対比8,125万円(29.6%)の増)

住みよい生活環境の充実を目指して合併処理浄化槽普及事業費を2.5倍の2,129万円計上しました。また、旧東頸城広域組合で運営していたごみ処理施設の解体経費負担金を4,430万円新たに予算計上しました。

衛生費

事業名	事業費
老人保健事業(総合健診経費等)	2,932万円
結核予防事業	126万円
予防接種事業	641万円
県単・町単幼児医療費助成事業	181万円
清掃一般経費(ごみ・し尿・火葬場等運営負担金とごみ処理施設解体負担金)	1億1,063万円

主な工事費等

事業名	事業費
合併処理浄化槽普及事業	2,129万円
簡易水道特別会計助成事業	1億4,152万円

農林業費は、4億2,862万円(前年度対比3,512万円(7.6%)の減)

集落センター屋根自然落下改造工事費の減少やふるさとの木ふれあい事業の見送り、農業集落排水施設整備事業の完了により前年度に比較して減額となっています。一方、峠集落の交流施設の建設費に4,220万円予算計上したほか、農道舗装を行う事業である団体営自然環境保全整備事業に3,100万円を計上しています。

農林業費

事業名	事業費
数量調整円滑化推進事業	66万円
★産地づくり対策交付金事業	276万円
中山間地域等直接支払交付金事業	1億4,322万円

主な工事費等

事業名	事業費
集落センター屋根・内部改造工事等	2,446万円
★多面的機能増進活動支援事業(峠集落交流施設建設)	4,220万円
★にいがたふれあいグリーンツーリズム促進事業(空民家改築経費補助)	250万円
県営事業(農免農道・中山間)負担事業	945万円
県単土地改良事業(集落道・農道改良)	3,615万円
団体営田園自然環境保全整備事業	3,100万円
県単林道改良事業	1,105万円
農業集落排水事業特別会計助成事業	539万円

総務費は、5億591万円(前年度対比5,053万円(9.1%)の減)

本年度が町制施行50周年であるため記念事業費1,809万円を計上しました。また十日町地域広域事務組合が事業主体となって圏域6市町村に高速通信体系を整備する事業に1,979万円を予算付けしました。このほか、今年度はミニ大地の芸術祭を行う予定です。

総務費

事業名	事業費
市町村合併準備事業費(法定協負担金他)	166万円
★町制50周年記念事業費	1,809万円
里創プラン整備事業(大地の芸術祭関連負担金等)	607万円
大地の芸術祭事業	55万円
雪国農耕文化村センター企画運営経費	1,376万円

主な工事費等

事業名	事業費
★十日町地域高速通信体系整備事業(十日町広域6市町村に光ケーブルを敷設)	1,979万円

民生費は、6億5,585万円(前年度対比2億5,668万円(64.3%)の増)

本年度の民生費は建設事業費が増加しており、9世帯10人のお年寄りが生活できる高齢者生活支援ハウスの建設に2億559万円を予算計上しました。また、社会福祉法人「松代町社会福祉協議会」が建設する小規模通所授産施設の建設補助に3,007万円を計上しました。このほか、制度改正により児童手当を小学校第3学年まで支給する経費を計上しています。

民生費

事業名	事業費
国民健康保険特別会計助成事業	3,444万円
障害者支援事業	3,018万円
小規模通所授産施設運営事業	1,107万円
高齢者生活支援事業	2,457万円
介護保険特別会計助成事業	6,732万円
老人保健特別会計助成事業	4,662万円
老人保護措置事業	2,029万円
★高齢者生活支援ハウス運営委託事業	347万円
保育所・へき地保育所運営費	2,313万円
児童手当	1,435万円

主な工事費等

事業名	事業費
★小規模通所授産施設建設補助事業	3,007万円
★高齢者生活支援ハウス建設事業	2億559万円

一般会計の主要事業

★は今年度新規事業

総合センターの下水道接続工事の完了により減額予算となっています。

教育費

事業名	事業費
小・中学校管理費	7,679万円
小・中学校教育振興経費 (小・中学校コンピュータリース事業)	1,548万円
やる気・元気・総合的学習支援事業 (小・中学校体験学習や社会貢献活動)	55万円
語学指導経費	496万円
社会教育推進事業	165万円
文化振興事業(町のたからもの展開催経費を含む)	240万円
クロカンスキー強化事業	206万円

主な工事費等

事業名	事業費
筋平地区スクールバス更新	770万円
小学校施設整備事業	107万円
★図書館・プール下水道接続工事	529万円

議会費は、議員の期末手当が0.2ヶ月削減されたため、69万円減の6,069万円となっています。

労働費は、就労報奨金の支給増加を見込んで52万円増の321万円となっています。

消防費は222万円減の1億1,550万円となっています。

災害復旧費は、新たに過年発生補助農業施設災害復旧費を580万円予算計上したため、377万円増の905万円となっています。

公債費は過疎債の償還増などにより1,163万円増の6億4,711万円となっています。

各特別会計の予算額

会計区分	予算額 【 】内は前年対比
国民健康保険特別会計	4億2,309万円 【5,165万円(11%)の減】
介護保険特別会計	3億8,402万円 【2,518万円(7%)の増】
老人保健特別会計	6億7,116万円 【1,784万円(3%)の増】
簡易水道事業特別会計	3億7,903万円 【5,092万円(16%)の増】
公共下水道事業特別会計	1億6,804万円 【1億5,774万円(48%)の減】
農業集落排水事業特別会計	2,779万円 【5,730万円(67%)の減】
計	20億5,313万円

商工費は、4億6,284万円(前年度対比2億2,254万円(92.6%)の増)

再掘削した温泉を活用して芝峠温泉に露天風呂を新設するほか、宿泊施設のバリアフリー化工事を行って、障害者や高齢者にやさしい施設にするため、3億7,559万円を予算計上しました。

商工費

事業名	事業費
店舗改装費補助事業	120万円
地方産業育成資金預託事業	900万円
観光一般経費	937万円
スキー場維持管理費	3,216万円

主な工事費等

事業名	事業費
芝峠温泉宿泊施設露天風呂新設及びバリアフリー化事業	3億7,559万円

土木費は、6億3,137万円(前年度対比6,264万円(11.0%)の増)

本年度は各集落の町道の改良路線数が3路線増となったほか、工事の規模が大きくなったため4,671万円の増となっています。また、千年金鉢住宅団地の整備を進め、5月下旬以降より順次分譲を開始するための事業費として8,185万円を計上しました。

一方、公共下水道事業特別会計繰出金が事業費の減少により2,935万円減額となっています。

土木費

事業名	事業費
除雪事業	1億1,019万円
冬期保安要員設置事業	715万円
地すべり巡視員設置事業	194万円
克雪住宅資金貸付事業	449万円
克雪住宅協調整備事業	1,155万円

主な工事費等

事業名	事業費
道路橋梁維持・改良事業	1億6,752万円
国道道工事負担事業	2,803万円
除雪車整備事業	2,692万円
小型除雪車整備事業	3,870万円
千年金鉢住宅団地整備事業	8,185万円
公共下水道事業特別会計助成事業	7,477万円

教育費は、2億6,768万円(前年度対比1,347万円(4.8%)の減)

中学校の施設整備事業が677万円減となったほか、

分譲直前情報

千年ニュータウン 今春分譲開始

緑に囲まれた安らぎの空間
第1期分譲 13区画
(第2期分譲は今秋の予定)



千年ニュータウンの宅地整備が完了し、5月下旬以降より分譲します。

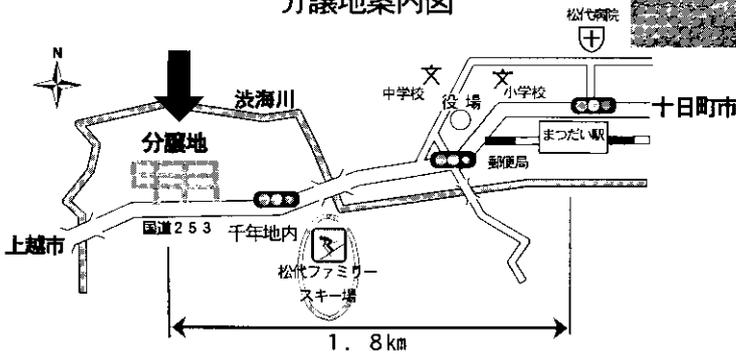
千年ニュータウンの分譲予定区画は41区画を計画していて、上下水道や団地内の道路工事が完了した区画から順次分譲します。

なお、分譲開始日やお申し込み方法などについては、決定しだいお知らせします。

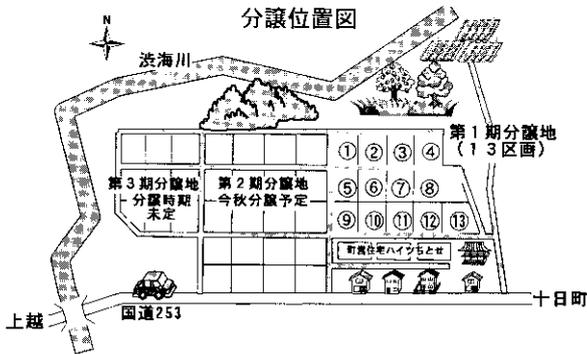
【お問い合わせ】

松代町役場 建設課 TEL 597-2220

分譲地案内図



分譲位置図



分譲の概要

所在地：松代町大字千年

交通：ほくほく線まつだい駅より1.8km

分譲区画：今回13区画（今秋20区画）

敷地面積：下表のとおり

分譲価格：下表のとおり

分譲地環境

道路：宅地内道路は幅6～10mで両側フタ付側溝。国道253号線はまつだい駅まで歩道付。

給・排水：上下水道は敷地入り口まで設置しますが、敷地内の配管工事・加入者負担金等は個人負担となります。

千年ニュータウン分譲価格

区画	面積 ㎡	単価 円/㎡	分譲価格 円
①	397.59	6,100	2,425,299
②	400.00	6,000	2,400,000
③	400.00	6,000	2,400,000
④	399.99	6,000	2,399,940
⑤	397.71	6,100	2,426,031
⑥	400.00	6,000	2,400,000
⑦	400.00	6,000	2,400,000
⑧	598.79	6,000	3,592,740
⑨	399.83	6,200	2,478,946
⑩	399.99	6,100	2,439,939
⑪	399.98	6,100	2,439,878
⑫	399.97	6,100	2,439,817
⑬	307.03	6,100	1,872,883

分譲条件

① 土地の引渡しを受けた日から概ね5年以内に住宅を建築すること。

② 1世帯2区画までとします。

③ 土地の権利譲渡は10年間禁止します。（ただし、自己配偶者または2親等までの血族は除く。）

建築制限等

① 敷地内で雪処理ができる住宅とします。

② 宅地内に電柱、消火栓等が設置されている区画がありますのでご了承ください。

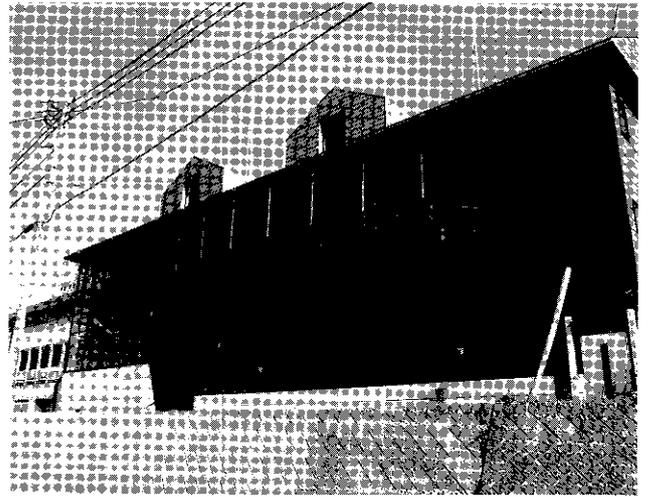
代金支払

契約の日から6ヶ月以内の一括払いとします。

申込方法

① 申し込みは印鑑（認印可）持参のうえ、先着順に受付します。

芝峠温泉に体験交流館 がオープンします



永く生命を育んできた、先人たちの築いた農村文化は、私たち郷土人の自慢の身上です。

いま、田植などの農業体験やスローフードに代表する田舎料理の実体験に、越後田舎体験や各種イベントを通じて年間三千人ほどが松代町を訪れていて、その人気は年々増加しています。観光として教育の場として、町内外の皆さんのご要望にお応えできる体験型交流館が、芝峠温泉に完成しました。

施設の構成

この体験交流館は、鉄骨造3階建ての造りで、1・2階は主に体験施設、3階は宿泊施設となっています。また、芝峠温泉共同浴場棟と併設していて、既存の施設と一帯的に利用ができるようになっています。

1階は、押し花教室や自然体験の事前学習などができる研修スペースとしてご利用いただけます。玄関ホールにはスロープや多目的トイレを設け、また全館バリアフリー対応の優しい構造

芝峠体験交流館の構成 (工事費1億2,033万円)

階数 (広さ)	室名	備考
1階 (138㎡)	自然体験室 玄関ホール 多目的トイレ 湯沸室	
2階 (194㎡)	食の体験工房 体験用厨房 更衣室 倉庫	共同浴場棟へ連絡
3階 (193㎡)	宿泊施設 (4室) リネン室	食堂「みはらし」へ連絡

となっております。

2階は、食の体験工房として、そば打ちやあんぼづくり、そして郷土料理の教室などに利用できます。体験工房では、そば打ちなどを一度に五十人が体験でき、体験用の厨房を使って調理実習やできた料理をそのまま食べられるようテーブルを用意しています。

そして、三階は宿泊施設として四部屋を整備し、現在の宿泊棟とあわせて百人規模の団体が受け入れられるようになりました。このほか、施設内の壁には伊澤和紙を使い、床や天井には木材を利用した木のぬくもりを存分に味わえる、やすらぎの空間になっています。

4月24日
一泊

モニター宿泊者を募集します

芝峠温泉レストビレッジ峰では、体験交流館のグランドオープンを前に、モニター宿泊者を募集しています。

モニター宿泊では、町民の皆さんから実際に宿泊をしていただき、施設についてさまざまなご意見をいただくもので、宿泊料は無料となっています。

募集内容は次のとおりですので、ふるってご応募ください。

宿泊日	4月24日(土)一泊	締めきり	4月21日(水)消印有効
対象者	町内在住者または町内の事業所にお勤めの方	宛先および	〒942-1544
および人数	の二人一組の四組、計八名を募集します。	問い合わせ先	松代町蓬平12 芝峠温泉レストビレッジ峰 (TEL 597-3939)
応募方法	官製ハガキに、住所、氏名、電話番号をご記入のうえご応募ください。	その他	抽選会は22日に行い、当選者には22日に直接電話にて連絡します。

ご利用について

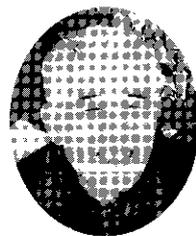
体験交流館は町の施設として管理されますので、予約・受け付け、詳しいお問い合わせは芝峠温泉レストビレッジ峰にご連絡ください。

(TEL 597-3939)

4月中は、予約を受け付けた団体の利用に限らせていただき、5月から一般の方もご利用いただけます。



スキー教室と雪国体験



石野 士

さいたま市在住
(木和田原・原)

東京松代会第二回スキー教室と雪国体験を、去る二月七日・八日、会員とご家族の皆様五十二名(内、子どもさん二十名)のご参加をいただき楽しく無事終了することができましたことを深く感謝申し上げます。当日七日朝八時、上野駅

松代地区 笠原 清

月日のたつのは早いもので、初代会長関谷徳次郎様はじめ多くの先輩方のご努力により、東京松代会が発して早十余年がたち、今では土台のシッカリした松代会ができました。諸先輩方に感謝の言葉を贈ります。若井謙一会長のもと、たくさんの方のイベントを企画し、皆様のご参加をお待ちしています。出会いは楽しい！

公園口に集合し出発しました。一番の心配はスキー場の天候でした。途中の交通事故で、少々遅れて関越トンネルをぬけると、チラチラ雪。まずまずと思うのもつかの間、八箇峠に向うと子どもたちもびつくりするほどの大雪で、ボタン雪が

峰方地区 若井 恒雄

この度、峰方地区の先輩諸氏から要請を受け副会長の大任を拝しました。幸い、同地区出身の若井謙一氏が東京松代会の会長に就きましたので心強い限りです。会員皆様のご理解とご指導をいただきながら、東京松代会の運営に努力し、郷土松代町との交流、振興に頑張つてまいりますので、よろしくお願ひします。

降りしきる中、ようやく「松和荘」に到着しました。雪国は寒いイメージを持たれますが、降り積もる雪や寒さもなんのその。一層元気がわいてきて、松代ファミリースキー場へ向かいましました。昨年参加した子どもたちは、スキーを履いたとたん、待ちきれない様子でリフトに向かいます。初めてスキーを履く子はスキー学校へ入学して、それぞれにスキーを楽しみました。夕食後は「かまくら」づくりをするファミリーもおられました。また、地元

伊沢地区 柳 政直

ふる里松代の皆様こんにちは。山々が冬の眠りから覚めて明るい緑に変わる季節になりました。先日は冬の陣におじゃまして、温かい歓迎を頂きありがとうございます。私たちが松代会は故郷の皆様との交流を益々深くして、お世話になるばかりでなく、各行事に積極的に参加したいと思ひますので、これからもよろしくお願ひします。

鈴木栄太郎さんの音楽教室で場が盛り上がり、郷土料理にお酒を交えての楽しい懇親となりました。翌日八日は前日と打って変わる快晴。新雪に朝日が輝き、絶好のスキー日和になりました。子どもたちもスキー指導員のもとで、全員リフトに乗れるようになり、ゲレンデの頂上から雄大な雪景色の中で、存分にスキーを満喫していただけたよう。何よりでした。雪国のさまざまな思い出を残せた二日間、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

山平地区 井上 正美

今年二月八日、松代の空は青く澄み、真っ白な新雪に陽の光が輝いていました。五十年前の春先の同じようによく晴れた朝、私たち寺田の仲間六人は学校をさぼり、スキーに乗って、名平から田野倉の下で一日中遊んでいました。東京松代会のおかげで、よき少年時代を思い出しました。



奴奈川地区 小堺 朝毅

この度、地区副会長の重責を担うことになりましたが、お互いが心豊かに温めあえる会となるように努めて参ります。会員や同輩の仲間たちの集いで同郷なればこそ語り、思い出されるのが、ふるさとの父母であり、友垣ともがきであり、山河やまがはであります。ふる里の皆様には、益々お世話になります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

言葉あそび

そびえる山なみ

なみ風をたてる

次回につづく

ムクドリ

おなじみの松代『せきもと』家の関谷八郎さんから、ムクドリとヒヨドリと一緒に写った写真が届きました。例の、関谷さんの野鳥餌づけ用の食卓に寄ってきて、干し柿をついばんでいたところをカメラに捉えられたもので、今年の一月二十七日だったようです。この二十七日には、私も自宅の玄関の雪掘りをしていて、西潟浩平さん宅前の電線に三十羽ほどのムクドリの団体を目撃しましたから、同じ集団の一員かも知れません。

関谷さんの観察記録では、昨年一月二十四日、おとしは一月二十五日だったそうですから、毎年この時節にやってくるらしいです。本格的な繁殖にやってくるのは三月の末あたりからですから、今



の豪雪の盛りには、食を求めてさすらいの旅の途中かも知れませんが、ムクドリ科のムクドリは、漂鳥の部類で、春から夏にかけては山地の木の洞穴などに営巣をして繁殖します。雛たちが巣立つ頃は、里に降りて大集団を成して田畑の昆虫類を食べていますから、冬の時期には松代町では見られないのが普通なんです。それが、真冬でもやって来るとは、里での生活事情が厳しくなったからでしょうか。

私たちは、この鳥が春の使者として雪やぶの凍みた中で「ギヤギヤ・キュルキュル」というにぎやかな声でなくことから「ギヤギヤ鳥」と呼んで、その巣から卵を盗んだり、雛を奪ったりしたものでした。畦豆をほじくるといつては嫌われた鳥です。最近では畦豆を付けることも無くなり、木の洞穴も少なくなつたからか、人家の軒に巣を構えるのも現れてきました。

ギヤギヤ鳥の卵盗りの経験を持つ少年時代を過ごした人たちも、大勢おられることと思います。そんなのどかな時代を、現在の少年たちは体験できないのは、どんなものでしょうか。

(写真 関谷八郎さん、

文 高橋八十八)

東京だより

第3回 ふるさと体験
ホタル観賞の夕べ

東京松代会員の皆さんにたいへんご好評をいただいている、ふるさと体験「ホタル観賞の夕べ」を6月26日・27日の2日間、松代町「松和荘」で行います。

郷土料理「ちまき」づくりやパターゴルフ、古道 松之山街道散策も予定し、たっぷりふるさと松代町を楽しんでいただけるプログラムです。(雨天時は内容一部変更)ふるってご参加ください。

日時 6月26日(土)～27日(日)

集合場所 JR上野公園口
午前8時30分

宿泊場所 松代町青少年研修センター
(TEL 025-597-2343)

参加費用 大人 14,000円
小人 8,000円

参加人員 定員50名(親子ペア25組)

申し込み 6月5日(木)迄に、下記の事業委員へFAXか電話でお申し込みください。

- ☆柳 克治 TEL048-478-6503 (松代地区)
- ☆若井 幸 TEL046-241-1735 (峰方地区)
- ☆柳 政直 TEL0471 39-2263 (伊沢地区)
- ☆池田 正 TEL046-223-6468 (山平地区)
- ☆石野 士 TEL048-832-7288 (奴奈川地区)



ナイターサーキット

少年アルペンスキートの技術向上を目指して、2月から3月にかけて三回にわたり、ナイターサーキットスキー大会が行われた。文字どおり夜のスキー大会で、午後6時から行われた。参加者は近隣市町村から70人ほどが、松代ファミリースキー場に集まる。主催する松代スキー協会の本柳彰造会長は「選手の実力も上位に接近し

ていて、毎回順位も入れ替わる。全国レベルの選手育成に今後も指導を強化したい」と意気込みを話していた。毎回の順位による得点制で、三回の合計点で総合成績が決まる。

大会結果(松代選手のみ)

- ◆小学4年生以下 女子
 - 3位 松沢 佳奈さん
- ◆小学5・6年生 女子
 - 2位 相沢 里奈さん
 - 3位 関谷 唯さん
- ◆小学5・6年生 男子
 - 1位 五十嵐羊太さん
 - 同 樋口 琢磨さん
 - 4位 松沢 航さん
- ◆中学生 男子
 - 4位 関谷 綾さん
 - 6位 平野 良行さん

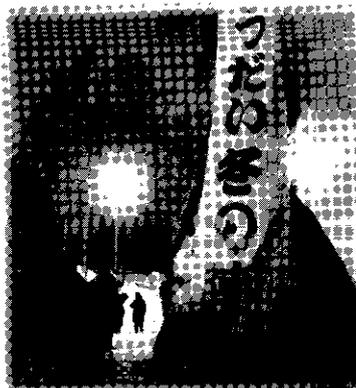
激戦 のつとれ! 松代城

冬将軍に立ち向った373名の戦士たち(完走者366名)

女大将

第十七代松代城主

春日萌子さん(16歳=十日町市) 星野一文さん(28歳=柏崎市)



のつとれ! 松代城 大会結果

女性の部		男性の部	
優勝	春日 萌子さん (十日町市)	優勝	星野 一文さん (柏崎市)
2位	高橋 愛子さん (長岡市)	2位	樋口 大棋さん (中里村)
3位	高安りえ子さん (豊島区)	3位	村山 亮さん (十日町市)

つたのぞの
第17回越後まつだいの
冬の陣
3月13日・14日 総合グラウンド

雪上みこし 生き! 生き! 合戦



高空こうじさんと新婚さんとのほつとでゆかいなトークライブ

「冬の陣が過ぎると、雪もおっかなかね!」
地元ではこんな声を聞くようになった。
季節の変わり目の代名詞とも言えるように
なった「冬の陣」を象徴するかのようになり、一日
目は冬を思わせる雪、二日目は春を思わせる
快晴だった。重い雪をはねのけ、冬将軍を蹴
散らしたかのように軽快なうらわしさを携え
た参加者二万一千人が、春の祭典を楽しんだ。

協賛いただいたみなさん(順不同 敬称略) —ご協力ありがとうございました—

- * 東京松代会
- * 関谷徳次郎
- * 若井 謙一
- * 萬羽 三蔵
- * 石野 士
- * 世田谷区教育委員会
- * 自治労八王子市職員組合
- * 十日町農業協同組合
- * 北越急行(株)
- * 高橋組
- * 岡村自動車整備工場
- * 榊オリス
- * ナルサワコンサルト
- * ナカノアイシステム
- * 北越融雪(株)
- * 恒樹園 新潟
- * 東芝エレベーター(株)新潟支店
- * ネットワーク21
- * 滝沢印刷
- * 新和コンクリート工業(株)
- * ミユキメンテナンス(株)
- * 加賀田組
- * アイ建築研究所
- * 越後交通(株)
- * 北越エンジニアリング
- * 東京設計事務所新潟支店
- * エオネットクス
- * 和光ベンディング
- * 信越ペブシコラ販売(株)
- * オスボック
- * 三菱電機ビルテクノサービス(株)
- * アートフロントギャラリー
- * 三国コカコーラボトリング(株)
- * 新潟コクヨ
- * 日さく上越営業所
- * 日本除雪機製作所
- * 宮内測量設計事務所
- * JA十日町旅行センター
- * 新明和工業(株)
- * 大原鉄工所
- * セコム上信越(株)
- * 松代郵便局
- * 旬日の出そば
- * 榊松代そば善屋
- * 大和電建(株)
- * BSN新潟放送
- * 三条印刷(株)
- * 松代町内各事業所 各団体



協議会設立の目的

十日町地域消防本部では、現在9名の救急救命士で、救急患者の医療機関への搬送を行っています。しかし、心肺停止患者などの救命率向上のためには、現場や搬送途上の救急車内での救急救命処置がとて重要で、このため、地域の医師会や医療・行政機関などで構成する「十日町地域メディカルコントロール協議会」を設立し、より専門的な救急医療体制を実現しようというものです。

専門的な救急医療に向けて

現場の救急救命士へ、常に医師から指示できる体制の整備や、救命士

「十日町地域メディカルコントロール協議会」が設立されました

の応急処置に対する医師による検証の実施、そして救急隊員の実習や研修を行うことで、的確な病院前救護体制を築いていきます。

どんなことができるのか

この体制を整備することで、救急現場での除細動（いわゆる、電気ショック）が迅速に行うことができるなど、今後さらに高度な救急救命処置ができるようになります。

また、救急隊到着前にその場に居合わせた人による応急手当が救命率の向上に大きく寄与することから、この「応急手当普及啓発」にも取り組むこととしています。

この組織の詳しい内容や応急手当講習に関する問い合わせは、協議会事務局へお願いします。

十日町地域メディカル

コントロール協議会事務局

（十日町地域消防本部警防課救急係）

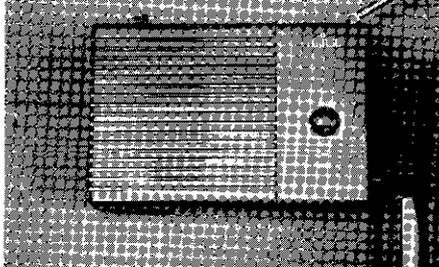
TEL 0257-5710119

救急救命処置＝救急救命士の行なう救命処置

除細動＝現在も実施していますが包括的な医師指示でできることとなった。包括的指示＝いろいろな制約のもとにあらかじめ決められた指示内容

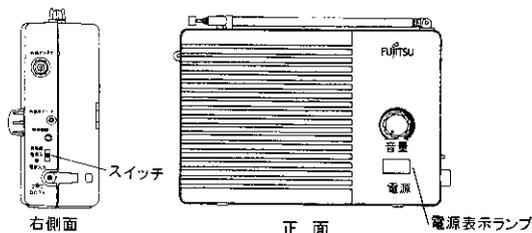
除細動が1分遅れることで救命率は75%低下します。

松代町防災行政無線の機器異状について



最近、町防災行政無線の不具合に関する問い合わせが多くなっています。

機器に発生する主な不具合状態への対応についてお知らせします。



機器に内蔵している乾電池の状態

1. 本機右側のスイッチを入れて、電源表示ランプが緑色のときは、電源や乾電池は正常です。
2. 本機右側のスイッチを入れても、電源がコンセントに入っていないと乾電池のみの作動になり電源表示ランプは赤色になります。
3. 電源が入っていても乾電池が切れている場合は、赤と緑の交互の点滅となります。乾電池を交換してください。（乾電池 単2 4本）

注意：家庭用電源で作動していますが、停電時やコンセントを抜いた時は乾電池に切り替わり乾電池の摩耗につながります。ご注意ください。長時間使用しないときはスイッチを切り、電源プラグを抜き乾電池を取り出してください。

雑音や受信不能の状態

1. 最近、雷などの影響で「雑音が入る、定時放送が入らない」という異常がよく聞かれます。これは機器に内蔵するコンピューターが雷などにより、異常事態になっている場合があります。本機右側スイッチを5分程度切り、もう一度スイッチを入れて復帰してください。
2. 最近のテレビや冷蔵庫などの家電品は、各種の電波を発生している場合があります。雑音が多くなった時は、それらの家電品と本機を離してください。

なお、異常のある場合は役場総務課まで連絡をお願いいたします。

町の行事予定 (4・5月)

お知らせ

4/21(水)	芝罘体験交流施設オープン記念「そば打ち体験研修」8:45～ 幼児歯科検診 松代活性化センター 12:30～
22(木)	中学校内科健診
23(金)	
24(土)	芝罘体験交流施設 モニター宿泊
25(日)	
26(月)	食生活改善推進研修会 総合センター 13:00～
27(火)	
28(水)	すくすく教室(開校式) 松寿大学 開講式 総合センター 8:40～ 狂犬病予防接種 町内五会場
29(木)	みどりの日
30(金)	
5/1(土)	郷土資料館 開館日 山火事防止運動(7日まで)
2(日)	
3(月)	成人式 総合センター 10:00～ 憲法記念日
4(火)	国民の休日
5(水)	こどもの日 立夏
6(木)	
7(金)	第2回合併協議会 保健衛生推進員研修会 役場 9:00～
8(土)	七ツ参り 松茸神社
9(日)	母の日
10(月)	マンモグラフィー検査 総合体育館 13:00～ 愛鳥週間
11(火)	
12(水)	ツベルクリン反応検査 総合センター
13(木)	幼児健診 松代活性化センター 13:00～
14(金)	BCG予防接種 総合センター 13:00～
15(土)	沖縄本土復帰記念日
16(日)	山菜を楽しむ会 ふるさと会館(問)役場:企画振興課
17(月)	
18(火)	第3回合併協議会(予定) 国際善意デー
19(水)	松寿大学 開講日 8:40～
20(木)	

介護保険料普通徴収の納期が変更になります

65歳以上の方の介護保険料は、年金から差し引かれる特別徴収と直接町に納付する普通徴収があります。今まで、特別徴収・普通徴収ともに年6回の納付でしたが、納付負担感の軽減等のため、平成16年度から普通徴収の納期を年12回に変更します。なお、特別徴収は年金から差し引かれるため今までと同じ年6回です。不明な点は、住民課国保介護保険係までお問い合わせください。

松代病院からのお知らせ

4月より、医師の診察担当曜日が次のように変更になります。

診療科		月	火	水	木	金	
内科	1 診	午前	布施院長	影向医師	布施院長	影向医師	長澤医長
		午後	布施院長	影向医師	布施院長	影向医師	長澤医長
	2 診	午前	長澤医長		室岡院長(隔週)		
		午後				布施院長(予約のみ)	
整形外科	午前					新潟大学 医師	
	午後	十日町病院 医師					
眼科	午前						
	午後			十日町病院 医師			
泌尿器科	午前						
	午後				十日町病院 医師(隔週)		
心療内科	午前			精神医療セン ター医師(隔週)			
	午後						

受付時間 午前：8時30分～11時30分
午後：1時～3時

平成16年度自衛隊幹部候補生募集のお知らせ

防衛庁では、次のとおり自衛隊幹部候補生を募集します。

一般・技術幹部候補生(海・空飛行要員を含む)

◎応募資格

- 大学卒業程度の学力を有し、20歳以上、26歳未満(22歳未満は大卒者(見込みを含む))
- 大学院修士課程修了者(見込み)は、28歳未満(海上技術幹部候補生は、理学または工学課程修了者に限る)

医科・歯科、薬剤科幹部候補生

◎応募資格

- 医科、歯科：専門の大学卒(見込み)で20歳以上、30歳未満
- 薬剤科：専門の大学卒(見込み)で20歳以上、26歳未満(薬学修士取得者は、28歳未満)

◎受付期間 4月5日(月)～5月11日(火)まで

◎試験日：1次5月22日(土)、23日(日)(23日は飛行要員のみ)
2次6月22日(火)～6月24日(木)の間、指定する1日

◎試験場：陸上自衛隊高田駐屯地予定

◎お問い合わせは、自衛隊新潟地方連絡部高田募集事務所まで

TEL 025-523-5519

編集後記

大切な商売道具なんだけど、結構あちこちに置き忘れては次に必要になったとき、どこに置いてきたか思い出しては取りに行く。取材しながら手早く書き記し、その後すぐ写真を撮るため、二つ折りにしてポケットに放り込む。写真に集中すると落とすことも気づかない。取材ノートだ。だから、取材ノートは汚い。けど、そんなシミばかりではない。夏の汗が滴り落ちたシミ、酒を飲んでいてとっさに思いついたときのシミ、感動に咽た涙のシミ。シミは取材メモ以上に、その時々をものがたっているときがある。この、年3・4冊程だが思い出深い貴重な宝物を、今年度も増やせることになった。また一年よろしくお願ひします。



【休館日】
毎週 月曜日・祝祭日
【開館時間】
毎週 火～金 13:00～18:00
土・日 10:00～17:00

【電話】 597-2615
【ホームページアドレス】
<http://www.9.ocn.ne.jp/~m-tosho/>
【メールアドレス】
m-tosyo@beach.ocn.ne.jp

◆ 新しい本の紹介 ◆

*** 一般 ***

天の瞳 あすなろ編Ⅱ 灰谷健次郎
逃避行 篠田 節子
幻夜 東野 圭吾
核の枢 松浪 和夫
ミルキー 林 真理子
そして、警官は奔る 日明 恩
ピエロで行こう 中園 直樹
あの橋の向こうに 戸梶 圭太
太郎さんとカラス 岡本 敏子
岩崎さんちの 種子採り家庭菜 岩崎 政利
緑内障 高橋 義徳
不整脈と心臓病 伊東 春樹
「子守唄」の謎 西館 好子
13歳のハローワーク 村上 龍
お母さん、ぼくが生まれてごめんなさい 向野 幾世

*** えほん・じどう ***

ねんね さえぐさ ひろこ
山のおふろ 村上 康成
ネコひげアンテナ 屋島みどり
本当にあったような日本のふしぎ話 重森 孝
本当にあったような世界のふしぎ話 辻 真先
モンスター学園 舟崎 克彦
ライオンボーイ シズー・コーダー
ガールズインティアーズ ジャクリン・W
スウィート・メモリーズ ナタリー・KニW
ちびまるこちゃんの音読暗誦教室 齋藤 孝
茶の湯をはじめよう 秋山 滋

お知らせ

4月1日より 平日の開館時間が
30分延長されます。
(毎週 火～金13:00～18:00)

『13歳のハローワーク』
《本の紹介》
村上 龍 著
人生は一度しかない。好きで好きでしょうがないことを仕事にしたほうがいいと思いませんか？ いろいろ「好き」を入口に、514種の職業が紹介されています。資格や雇用の状況がすべてわかる、仕事の百科全書です。
(出版社 幻冬舎)

お じ ゃ ま し ま す

玄関先の大きな櫓の木が、この建物を象徴する。昭和初期に建てられたという、入母屋造りの三階建て。柱や梁、敷居までふんだんに使われた漆塗りの檜材が、真っ白な漆喰壁に映える。周囲をブナ林が囲み、夏でも湿気を帯びた心地よい涼風が、落ち着きとやすらぎを与えてくれる。

国道から入った池尻集落内の道路を上っていくと、集落を見おろすように、この松代町郷土資料館はある。

昭和57年に町が譲り受け、翌々年の59年6月に郷土資料館としてオープンしたので、今年で20年をむかえる。

この資料館には、町内各所から寄贈された約1,700点もの収蔵品が展示されている。その中の約八割は古民具や農具が占めていて、

館内の十二部屋に配置されている。その他には古文書や仏像、はたまた遺跡出土品から400万年前のものと同定されるシロウリガイの大化石塊なども展示されていて、古代からこの地に住む庶民の暮らしが目に浮かぶようだ。

ここで管理人を務める、市川芳蔵さん(86歳 松代)と若月政市さん(79歳 千年)の説明がまた、数ある収蔵品に磨きを加える。「現在では馴染みのないものがほとんどだすけネー。この道具が何に使うかわかってこそ、資料館の意味があるわけだ」と話す市川さん。物の用途から使い方で、例話を交えて事細かに聞けるから、誰でも実感がわく。

感興をもよおす、豊富な経験が醸すこのサービスもまた、貴重な資料である。



来館者へ説明する市川芳蔵さん

5月1日(土) 開館
松代町郷土資料館
(11月上旬まで)
開館時間：午前9時～午後4時30分
入館料：小・中学生 100円(団体 70円)
大人 200円(団体150円)
※ 団体は20名以上
問い合わせ：松代町教育委員会
TEL 025 (597) 2301

2004年 第533号
4月号
平成16年4月15日
(毎月1回発行)

発行/松代町役場総務課

〒942-1592 新潟県東頸城郡松代町大字松代322番地1
TEL 025 (597) 2220 FAX 025 (597) 2526・(597) 2300